

みずほ議会だより Vol.229

2021.8.5

ギカイ の ひろば

◆CONTENTS

新たな議会構成が決まりました

議会基本条例を施行

議会に届けられた2つの陳情を審査

スピード感と透明性のある議会へ

町政を問う

—13人の議員から17件の一般質問—

特集

瑞穂町

ワクチンチーム



町議会



瑞穂町 ワクチンチーム & 町議会

町では5月8日から新型コロナワクチンの接種が進められています。今回は、その重要な役割を担う町担当職員の皆さんの特集です。

今年1月、新型コロナワクチン接種事業を専門とする職員が配置されました。その後、メンバーを増員。ワクチンチームは現在7名体制となって、新型コロナウイルスから町民を守るために日々奮闘しています。

※アンケートをインタビュー形式に編集しています。Q&Aは、7月中旬現在の内容です。



2月16日に行われた接種のシミュレーション

町の医師会の先生方、

看護師の皆さん、

そして住民の皆さんの協力に感謝。

Qこれまで大変だったことを教えてください。

- 全住民を対象にした予防接種は経験がなく、何から準備していいのか分からず、手探りでのスタートだったことです。
- 当初、消耗品で必要なものも数量も不明で：予算の積算は大変でした。
- 参考事例がなく、ゴールを探しながら走っている感じでした。
- 国の方針や制度が急きょ変更された時の対応は：大変でした。

— 事務作業をしながら、集団接種会場での現場対応や医療機関からの問い合わせ、調整など：日々奔走しています。

— 日常の業務をしながら、高齢者施設での接種を早期に開始するため、短時間で町内の各施設と調整した時が特に忙しかったです。

Qワクチン接種で工夫された点がありますか。

- 集団接種会場の動線や運営方法です。
- 接種者が移動するのではなく、問診する

医師と接種する看護師が各ブースに移動することで、効率良く接種が行えるようになりました。

— 集団接種に向けて2月に町民会館でシミュレーションを実施（右写真）して、参加者からアンケートで意見をたくさん頂き、それを会場運営に反映しています。

— 急なキャンセルがあってもワクチンロスにならないように別の方の接種につなげるなど、柔軟な対応ができるようにしました。



福祉部長
福島 由子さん
客観的に事業の進捗を管理するよう努めました。



健康課長
工藤 洋介さん
手探りのスタートでした。



健康課ワクチン接種事業担当主幹
水村 探太郎さん
医師会の先生方の協力に感謝です。



健康係長
生田目 勝さん
当初、消耗品の物も数も不明で・・・予算の積算は大変でした。



健康課主任
榎本 康弘さん
日々奔走しています。



健康課主任
鈴木 隆太さん
ゴールを探しながら走っている状態でした。



健康課主事
宮野 裕城さん
マスクの着用による熱中症に気を付けてください。

— 大規模接種会場や職場での接種をされる方のために接種券を先行発送しました。

— 目まぐるしいほど状況が変わる中で、他自治体の情報も集めながら、客観的に事業の進捗を管理するように努めてきました。

Q瑞穂町の現在の状況はどうか。

- 現在までのところ順調です。町の医師会や町民の皆さまのご理解とご協力のたまものです。
- 週に2500回以上の接種ができています。
- 7月中には高齢者施設を含めた高齢者の2回目の接種が完了する見込みです。
- 施設での接種や移動困難な方には巡回接種もしています。
- 職員一丸となって取り組んでいます。

Q何かPRしたい点がありますか。

- 人口3万人規模で、病院や診療所での個別接種と集団接種を併用できている自治体は全国的に少ないと思います。
- 町の医師会の先生方や看護師の皆さんが進んで協力してくれました。本当に感謝です。

— 全国の公務員の有志で行われているオンラインによる情報交換会に管理職2名が参加して、最新の情報を得るよう努めています。その上で、瑞穂町の状況に合った、より円滑な接種方法がないか話し合っています。

Q町民の皆さまにお知らせしたいことがありますか。

- ワクチン接種を終えても基本的な感染対策の継続をお願いします。
- マスク着用による熱中症のリスクが高まる季節になります。屋外で人と十分な距離がある時はマスクを外すなどをお願いします。
- 接種スケジュールが急きょ変更になる場合があります。変更点など、随時ホームページでお知らせしますので、ご確認をお願いします。
- コロナ禍ではありますが、がん検診、生活習慣病などの健診、お子さまの予防接種、定期健診は機会を逸することなくご参加ください。

ご協力ありがとうございました。



●議長
古宮 郁夫



●副議長
山崎 栄

この度、議員各位の推挙により議長（再任）・副議長に就任いたしました。重責を果たすべく、共に一所懸命に努力してまいります。

町では将来都市像を「すみたいまちつながらるまちあたらしいまち」とした第5次長期総合計画、また、「新たな流れを創出する都市瑞穂」を掲げた都市計画マスタープランが、本年4月からスタートしています。

一方、議会関連では、議会活性化の指南書となる瑞穂町議会基本条例が、4月1日に施行されました。初年度の取り組みが大変重要になり、さらなる議会活性化の足掛かりになると考えます。

財務省は3月末の国の借金が1216兆円で過去最高になったと発表しました。「財源の議論がない中で、新型コロナウイルス禍を受けた財政出動で借金が大幅に拡大し、将来世代に過大なツケとならないか」との指摘があります。状況の変化を的確に把握し、アフターコロナも見据えて、議会活動を円滑かつ効率的に行ってまいります。また、議会の政策立案能力を向上させ、住民の負託に応えられるよう、議会が一丸となってチャレンジし、議会力の向上を目指します。

今後皆さまの温かいご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

新たな議会構成が決まりました!

議会運営委員会

議会、委員会活動が適正かつ効率的に行えるようにします。

- 石川 修
- 森 亘
- 委員長 村上 嘉男
- 榎本 義輝
- 小川 龍美
- 副委員長 近藤 浩



総務産業建設委員会

企画・財政、環境、防犯・防災、都市計画や産業に関わる問題を調査します。

- 原 隆夫
- 大坪 国広
- 下野 義子
- 村上 嘉男
- 榎本 義輝
- 古宮 郁夫
- 委員長 石川 修
- 副委員長 下澤 章夫



基地対策特別委員会

横田基地の騒音や事故などの問題対策と国からの交付金、補助金などの増額、適正化を図るための調査や関係機関への要望などを行います。

- 原 隆夫
- 大坪 国広
- 山崎 栄
- 村上 嘉男
- 委員長 下野 義子
- 副委員長 香取 幸子



厚生文教委員会

福祉推進、障がい者・子育て世帯・高齢者支援や健康と教育全般・スポーツ推進に関わる問題を調査します。

- 香取 幸子
- 小山 典男
- 村上 正利
- 山崎 栄
- 近藤 浩
- 委員長 森 亘
- 副委員長 小川 龍美



交通対策特別委員会

モノレールの延伸、コミュニティバスの運行、八高線の複線化や民間バスの利便性の向上など、住民の交通に係る環境を確保するための調査や関係機関への要望などを行います。

- 森 亘
- 村上 正利
- 石川 修
- 下澤 章夫
- 榎本 義輝
- 近藤 浩
- 委員長 小山 典男
- 副委員長 小川 龍美



← 続きは次ページに

もっと住みよい町づくりを

目指して

議会基本条例を施行

令和3年4月から議会基本条例がスタートしました。この条例は、瑞穂町にとって重要なことを最終決定する議会の機能を高めるとともに、分かりやすい情報を発信し、住民参画を促進して、よりよい町づくりを皆さんと共に進めることを目的としています。

◆何がどう変わる

議会モニター設置

町内在住・在勤の方に、議会や常任委員会を傍聴して、提案、意見や感想を寄せていただきます（4年4月スタート予定です）。



政策研究会の発足

町政の重要な問題を各委員会などを横断して調査研究できるように、プロジェクトチームを発足して、政策立案・提言につなげます。

◆進行中

広報広聴委員会(仮称)の発足

これまで、議会の情報発信は議会だよりやホームページが主でした。議会にICT機器が導入予定であることやスマートフォンの普及などから、YouTubeやSNSの効果的な活用を検討し、情報発信機能を高めていきます。



◆調査中

予算・決算常任委員会の設置



これまで皆さまから預けられた税金の使い道などを審査する予算特別委員会、決算特別委員会では、それぞれ3日間の町側への聞き取り調査、その後の議員問討議の計4日間で行ってきました。しかし、事業内容を調査し、速やかに提言できるようにするために常任委員会化している議会が増えています。常任委員会化により、年間を通して事業のより適正な見直しができるようになりますが、一方で、会議日程の確保や頻繁な調査により、円滑な事業運営に支障を来すのではないかと指摘があります。

◆調査中

通年議会化

原則、議会の招集は年4回、町長が行います。しかし、議会の通年化により、重要な意思決定が必要な際に、いつでも議長の権限で議会を開催できるようになります。また、町の事業や予算などへの審査がより充実し、町政に対する監視機能の強化も図られます。通年議会化の調査に至ったのは、コロナ感染拡大で国や都から緊急的な財源や課題が発生した際、通年議会方式を採用していた議会がしっかり審査できており、その必要性が高まったためです。しかし、説明のための資料作成など職員の負担増や議事録作成などにかかる経費増につながるのではないかと指摘があります。

←新たな議会構成の続き

■一部事務組合等議会

各議員は、自治体が共同出資して組織する特別地方公共団体の重要な意思決定や運営の監視などを担います。

瑞穂斎場組合（瑞穂町、入間市、福生市、羽村市、武蔵村山市）

斎場の運営や周辺地域への対策などを行っています。

小山 典男、村山 正利、村上 嘉男

西多摩衛生組合（羽村市、青梅市、福生市、瑞穂町）

構成市町から出された燃えるごみを焼却する施設とフレッシュユランドの運営、周辺地域への対策などを行っています。

近藤 浩、下澤 章夫、香取 幸子

羽村・瑞穂地区学校給食組合（羽村市・瑞穂町）

各公立小中学校の給食の運営を行っています。

小川 龍美、石川 修、原 隆夫

東京たま広域資源循環組合（都内25市1町）

各焼却施設から排出された焼却灰などを日の出町の処分場で処理します。ごみの最終処分策として、現在、エコセメント施設を民間と共同で運営しています。

大坪 国広

福生病院企業団（福生市・羽村市・瑞穂町）

公立福生病院の運営を行っています。

森 亘、下野 義子、榎本 義輝

■協議会・審議会(外部)

国や関係機関に改善を働きかけることを目的とした組織で、自治体共通の課題を調査、審査します。

三多摩上下水及び道路建設促進協議会

理事
第1委員会委員（上水道） 古宮 郁夫
第2委員会委員（下水道） 石川 修
第3委員会委員（道路） 小山 典男
下野 義子

不老川流域対策推進協議会顧問

古宮 郁夫

多摩地域都市モノレール等建設促進協議会

古宮 郁夫、小山 典男

三鷹・立川間立体化複々線促進協議会

古宮 郁夫、小山 典男

全国市議会議長会基地協議会

古宮 郁夫

三多摩地区消防運営協議会

古宮 郁夫

西多摩地域広域行政協議会審議会

古宮 郁夫、山崎 栄、石川 修

■協議会・審議会(町)

瑞穂町都市計画審議会

大坪 国広、小山 典男、原 隆夫、下澤 章夫

瑞穂町青少年問題協議会

近藤 浩、森 亘、香取 幸子

民生委員推薦会

山崎 栄
瑞穂町監査委員
榎本 義輝

pick up 3 むさしの保育園の定員を120人から99人へ
議案第46号 瑞穂町保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する
 条例を可決



都営住宅1階にあるむさしの保育園

- Q 定員を削減する理由は。
- A 実態に見合った定員に変更する。町から園に支払う保育園運営費は利用児童数によって変動する。定員が減ると運営費の公定価格の単価が上がる制度になっているため、園の経営が安定する。
- Q 歳出への影響は。
- A 約450万円の歳出増になるが、保育ニーズに応えるため、園を存続させるだけでなく、保育の質向上を追求していく。
- Q 待機児童ゼロは守られるのか。
- A 今回は待機児童に影響のない3～5歳児の定員を削減するため、待機児童ゼロを維持できる。

pick up 4 学力向上へ 中学3年生を対象にスタディアシスト事業を実施
議案第52号 令和3年度瑞穂町一般会計補正予算(第5号)を可決



- Q 事業の内容は。
- A 塾に通っていない50人を想定し、生徒5人に講師1人の体制で学習する。場所は生徒のモチベーションや教員の負担などを考慮して、ふれあいセンター、長岡コミュニティセンターで行う。
- Q 契約先の選定は。
- A 委託先はプロポーザルで選定する。講師の質の確保が最も重要であり、仕様書に記載していく。

pick up 1 図書館改修の補強工事の実施
議案第43号 令和3年度瑞穂町一般会計補正予算(第3号)を可決

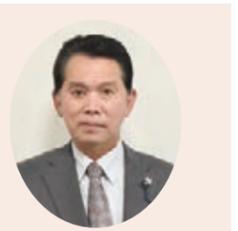
- Q 図書館改修工事費の追加ということだが、工事内容は。
- A 既存の建物のコンクリート躯体の補修工事。主にクラック(ひび割れ)の補修と土壌の入れ替え工事。
- Q 当初に、予定や想定はできなかったのか。
- A 内装を剥がし、躯体が現れた段階で初めて確認できた。当初は見込むことができなかった。土壌の入れ替えについては、予期せぬ埋設物が出てきて、きちんとした土壌と入れ替える必要が生じたため、追加予算を願う。
- Q この追加工事により工程に影響はないのか。
- A 影響はない。工期は、4年1月31日まで、リニューアルオープンは、4年3月中を予定。



pick up 2
議案第44号 監査委員の選任に同意

監査委員小山典男氏の退任に伴い、後任に榎本義輝氏を選任することに同意しました。

議会選出監査委員
榎本 義輝 議員
 任期 令和3年5月12日～
 令和5年4月30日



令和3年第1回瑞穂町議会臨時会議案

全会一致で可決(承認・同意)された議案

議案	第38号	専決処分の承認について(瑞穂町税賦課徴収条例等の一部を改正する条例)	
議案	第39号	専決処分の承認について(瑞穂町都市計画税条例の一部を改正する条例)	
議案	第40号	専決処分の承認について(令和2年度瑞穂町一般会計補正予算(第12号))	
議案	第41号	専決処分の承認について(令和2年度瑞穂町国民健康保険特別会計補正予算(第5号))	
議案	第42号	専決処分の承認について(令和3年度瑞穂町一般会計補正予算(第2号))	
議案	第43号	令和3年度瑞穂町一般会計補正予算(第3号)	pick up 1
議案	第44号	瑞穂町監査委員の選任について	pick up 2

※ 5月臨時会議案 6月定例会議案 の詳細はHPでご覧になれます。
 ※ **pick up** はP8～11に詳細を掲載しています。

令和3年第2回瑞穂町議会定例会議案

全会一致で可決(承認・同意・適任)された議案

議案	第45号	専決処分の承認について(令和3年度瑞穂町一般会計補正予算(第4号))	
議案	第46号	瑞穂町保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	pick up 3
議案	第47号	瑞穂町介護保険条例の一部を改正する条例	
議案	第48号	瑞穂町都市公園条例の一部を改正する条例	
議案	第49号	瑞穂町監査委員の選任について	
議案	第50号	人権擁護委員の候補者の推薦について	
議案	第51号	瑞穂町図書館改修工事請負契約の変更契約について	
議案	第52号	令和3年度瑞穂町一般会計補正予算(第5号)	pick up 4
議案	第53号	令和3年度瑞穂町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	
議案	第54号	令和3年度瑞穂町一般会計補正予算(第6号)	

議会に届けられた 2つの陳情を審査

6月議会では、2つの陳情が届けられました。1つはエネルギー問題で、総務産業建設委員会、もう1つは健康と医療の問題で、厚生文教委員会にて審査をしました。

pick up 6
3陳情第7号

「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書」について

厚生文教委員会

陳情事項

- 1、今後も発生が予想される新たな感染症拡大などの事態にも対応できるよう、医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。
- 2、公立公的病院の統合再編や地域医療構想を見直し、地域の声を踏まえた医療体制の充実を図ること。
- 3、安全・安心の医療・介護提供体制を確保するため、医師・看護師・医療技術職・介護職等を大幅に増員すること。
- 4、保健所の増設・保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。ウイルス研究、検査・検疫体制などを強化・拡充すること。
- 5、社会保障に関わる国民負担軽減を図ること。



委員間での主な討議

コロナ感染では、当初混乱もあったが、第2次補正予算で医療機関や医療従事者のために予算を確保している。これで十分と言えるかは別として、国ではできる限りの予算配分をしている。

地域医療構想についてはコロナ感染の関係で見直しが計画されている。

町側への質疑の答弁では、福生病院は看護師の設置基準を満たしており、また、現在、福生病院も近隣の医療機関からも看護師不足の声は町には届いていないとのことである。

医師・看護師・医療技術者の増員とあるが、コロナ対応の問題点としては、病院が多すぎて医師・看護師が分散したことや、大病院が軽症者から重症者まで診察する医療体制がある。必ずしも医師や看護師を増やせば解決する問題ではなく、医療体制の見直しが必要。

保健所を増やす前に、保健所の機能、役割分担など組織再編が先である。

コロナの関係で生活が困窮している人が安心して受診できるような医療支援は継続していく必要がある。

⇒委員会での採決の結果は、全委員が不採択を表明しました。

地域医療構想とは

都道府県が策定するもので、地域で将来必要となる医療機能を推計し、目指すべき医療提供体制やその推進に必要な取り組みなどを示している。

これらの結果を21日の本会議で委員長が報告し、採決の結果、いずれの陳情も議会として不採択となりました。



※陳情の詳細はHPでご覧になれます。

pick up 5
3陳情第6号

エネルギー基本計画における再生可能エネルギー電力の割合を高めることを求める意見書提出を求める陳情書

総務産業建設委員会

陳情事項

- 1、国の第6次エネルギー基本計画における2030年度の再生可能エネルギー電力目標を60%以上、2050年度には100%とするよう、国に意見書を提出してください。
- 2、巨大なリスクを抱える原子力発電は停止し廃炉に向けた計画を進め、石炭火力発電は段階的に2050年度までに廃止する計画とするよう、国に意見書を提出してください。



委員間での主な討議

原発1基を代替するためには、山手線の内側ほどの面積に太陽光発電を設置する必要がある。また、風力はその約3.4倍必要とされている。それを踏まえると、日本の2030年度の再生可能エネルギー電力目標が36~38%であるのを、残り10年間で60%以上にするのは困難である。現時点で原発をゼロにするのは現実的ではない。

趣旨は分かる。しかし、エネルギー政策には安定供給が必須であり、現在の太陽光などの再生可能エネルギーによる供給は不安定である。

ここ数年の災害の大きな要因は温暖化と言われている。CO₂の削減に向け、石炭火力発電を止めなければならない。あと9年で60%は困難との意見もあるが、道筋をつけなければ実現できない。

60%目標の根拠や具体的な実現方法が見えない。

カーボンニュートラルなど、あらゆる努力が必要。

⇒委員会での採決の結果は、採択1名、不採択6名で不採択となりました。

カーボンニュートラルとは

人の活動で排出される温室効果ガスを、植林などの活動によって吸収・除去することで、排出量を差し引きゼロにすること。

賛否の分かれた陳情

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 ※議長は採決には加わりません。

件名	自民誠						自民新			公明		改革	共産	結果
	森	榎本	村上	山崎	下澤	香取	石川	小山	村山	小川	下野	原	近藤	
3陳情第6号 エネルギー基本計画における再生可能エネルギー電力の割合を高めることを求める意見書提出を求める陳情書 pick up 5	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	不採択
3陳情第7号 「安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書」について pick up 6	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	○	不採択

自民誠：自民誠和会 自民新：自民新公会 公明：公明党 改革：改革みずほの会 共産：日本共産党



一般質問

13人の議員から17件の一般質問

一般質問とは？

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針などを執行者に直接質問し、併せて政策的提言や行政への批判などを行います。

質問の範囲は、町の行財政、地域の問題や住民生活に関わる事項など多岐にわたります。



質問 町制施行80周年を機に瑞穂町公式キャラクター「みずほまる」が誕生した。令和3年第1回瑞穂町議会定例会で杉浦町長が示した3年度の施政方針の中で、公式キャラクターを活用し、さまざまな情報発信ツールを使用しながら、瑞穂町の魅力を発信できるような取り組みとして「みずほまる」をデザインに取り入れた原動機付自転車や小型特殊自動車のご当地ナンバープレートを交付するよう提案するが、町長の所見を伺う。



公式キャラクターの活用を考えるワークショップ

を交付し、そのうち、公式キャラクターを用いているのは10市になる。町でも、原動機付自転車に公式キャラクターを使用することについて、継続的に実施しているワークショップなど意見聞きながら、効果を含めて検討していきたい。

町長 コロナ禍の実施であり、感染対策には万全の態勢で臨む。

小山 典男 議員（自民新政会）
町公式キャラクター「みずほまる」をご当地ナンバープレートに
町長 ワークショップでの意見を参考に検討したい



FOCUS スピード感と透明性のある議会へ ～ICT導入に向けて～

現在、議会改革のアドバイザーとして、早稲田大学マニフェスト研究所の長内紳悟先生をお招きしています。先生は多くの地方自治体の議会改革に関わり成果を上げられています。

先生からは、議会改革に着手した多くの議会では、ICT 機器を導入し、最新の情報を収集した上で、全議員で共有し議論を深めたり、リモート会議の実施や会議中継を配信したり、時には、災害現場の状況などを災害対策本部に映像で伝えたりしていることを研修会などを通じて、教えていただきました。町議会でも ICT 機器を導入し、研究と研修を続けながら、活用をしていきます。

R2 10/22
ペーパーレス会議システム導入説明会開催



R3 2/10
オンライン研修会を開催



オールインワンミーティングボードのデモンストレーション

6/21
オールインワンミーティングボード機能説明会



オールインワンミーティングボードとは
電子黒板、WEB会議システムやプロジェクターが一体化した最先端の会議支援機器。画面上での情報の共有化などで、さらに充実した審査や討議が可能に。

そして、ICT化 実践始まる

7/8
議会だより編集委員会



オールインワンミーティングボードを活用した「ギカイのひろば」の編集作業
手元のパソコン画面を大画面のミーティングボードに連動させて、編集を進めています。



大坪 国広 議員 (日本共産党)

少子化対策で人口減少にストップの取り組みを



町長 社会福祉政策と制度改革が必要である



園庭で遊ぶ子どもたち

質問 町の合計特殊出生率は、元年度で1.08となり前年を大きく下回った。コロナ禍の中、経済が落ち込み、若い世代の所得や雇用に影響が出れば、さらに少子化が加速する懸念がある。そこで、次の点について町長の所見を伺う。

問① 少子化の現状をどのように捉え、認識しているか。

町長 町は平成30年度に子育て応援課を新設し、さまざまな支援を推進している。しかし、少子化対策には給付などを含めた社会福祉政策だけでなく、働く人の子育て機能など社会的制度改革が根本的解決策として必要である。

問② 経済的負担軽減のために、保育所の副食費や学校給食費への助成、児童・生徒への卒業アルバム代補助など、手厚い施策を実施

町長 西多摩郡の四つの町村で課題を共有し、機運醸成を図る。

こんな質問もありました
「西多摩郡」呼称廃止について再度問う



石川 修 議員 (自民新政治家)

むさしの公園にトイレの設置を



町長 都は都営住宅地内の公園への設置を行わない方針

質問 都営住宅内にあるむさしの公園は、昨年3月に新たに大型複合遊具を設置した。緑に囲まれた素晴らしい公園となり、毎日幼児から児童までが大勢利用している。しかし公園内にはトイレがなく、子どもがトイレに行きたいと言った下の子をおんぶした母親は、都道を横断してコミセンのトイレに駆け込む状況である。公園の遊具でゆつくり楽しく遊ぶこともできない。都用地であるが一日も早くトイレの設置を要望する。町長の所見を伺う。



隣接していないことによる設置費用の増大などを主な理由として設置を行わない方針と回答した。町では、近接する武蔵野コミュニティセンターやグラウンド内のトイレ使用をお願いしている。必要であることを主張し、都と協議中である。現在、トイレの利用については近接する武蔵野コミュニティセンターやグラウンド内のトイレ使用をお願いしている。

問③ 学校・地域・家庭の連携による教育活動の推進や登下校での安全体制の強化とスクールガードリーダーの立ち上げを行った。



スクールガードリーダーによる見守り

スクールガードリーダーとは
子どもの安全のため、登下校時の見守りや通学路の点検などを行う防犯の専門家。警察・教員のOBや警備会社の社員などで構成されている。

問① 基本計画の目標と最重要課題は何か。

町長 「自ら学び考え行動する創造力豊かな人」などの他2点が目標。最重要課題は確かな学力の育成。

問② 新たな取り組みは。

教育長 協働による教育活動の推進や登下校での安全体制の強化とスクールガードリーダーの立ち上げを行った。



森 巨 議員 (自民誠和会)

新たに策定された教育基本計画について



教育長 社会総がかりで子どもたちへの教育を実現する

質問 町教育委員会は、昨年3月に第2次瑞穂町教育基本計画を策定し、今後10年間にわたる具体的計画を示した。そこで、次の5点について教育長の所見を伺う。

問① 基本計画の目標と最重要課題は何か。

町長 基本計画の目標と最重要課題は何か。教育長 「自ら学び考え行動する創造力豊かな人」などの他2点が目標。最重要課題は確かな学力の育成。

問② 新たな取り組みは。

教育長 協働による教育活動の推進や登下校での安全体制の強化とスクールガードリーダーの立ち上げを行った。

問③ 学校・地域・家庭の連携による教育活動の推進や登下校での安全体制の強化とスクールガードリーダーの立ち上げを行った。

小川 龍美 議員 (公明党)

高齢者のデジタルデバインド対策に向けた取り組みを



町長 新規制度の活用にも対応したい



ふれあいセンターで行われたスマートフォン教室

質問 コロナ禍によって急速にデジタル化が進む中、高齢者に情報格差(デジタルデバイド)が生じている。加えて、生活のさまざまな面で非接触・非対面が増え、高齢者の孤立化も進んでいる。都

は、今年度、高齢者のデジタルデバインド対策として新規事業を含む4つの事業を打ち出した。町はこれらを活用し、スマホの無償貸与、基本操作やインターネットの検索方法を教える講習会の実施、支援員の育成・活用などに取り組むべきと考え

町長 総務省は、通信料金の値下げ、マイナンバーカードによる行政効率化などメニュー



近藤 浩 議員 (改革みずほの会)

接戦となった町長選挙をどう
捉え、今後の町政に臨むか



町長 何が支援につながったのか
しっかり見ていきたい

質問 本年4月の町長選挙において、現町長は、基盤がほとんどない対立候補に数百票差まで迫られた。

さまざまな要因があると思うが、一つは変化を求める町民が多かったということである。このことをどう捉え、今後の町政をどう進めていくのか、町長の所見を伺う。

し、百人が百人満足していることはないと思う。いろいろな意見があつて、どれを選択していくかが民主主義である。別の方を支援した方もいるので、どのような取り組みが支援につながったのか、しっかり見なければならぬと思う。

こんな質問もありました
核兵器禁止条約の発効に伴い、平和事業などにどう取り組むか

町長 条約の批准に関わらず、命や平和な社会の大切さを考えていただければいい、事業を継続していく。



本年4月25日に行われた瑞穂町長選挙

質問 瑞穂町でも5月8日から75歳以上の高齢者のワクチン接種が開始された。4月26日からインターネットと電話での予約が行われているが、予約受付をめぐり、多くの町民の方々から問い合わせ、要望が寄せられ、改善

を求める声があがって5倍のアクセスが電話回線に集中し、つながりにくい状況となったが、回線を増やして対応し、現時点では落ち着いている。予約の集中を避けるため、65歳から74歳までの方には5歳刻みで接種券を送付した。また、自宅から出られない方に対しては個別訪問接種で対応する。現在12歳から64歳までの方への対応を調整している。

香取 幸子 議員 (自民誠和会)

新型コロナウイルス ワクチン接種について



町長 5歳刻みで接種券を送付する



質問 新型コロナウイルス感染症まん延を抑え込めず、3度目の緊急事態宣言が発出された。人流抑制のため、多くの制限が要求され、飲食店などの時短営業・休業要請、テレワーク、外出の自粛など、いわゆるステイホーム

が続いている。経済的・健康的不安などでストレスがたまり、その結果、子どもに対する虐待の発生・増加が懸念される。こうした状況の下、瑞穂町における虐待の発生状況とその対処・対策について、町長の所見を伺う。

あるので、注意して経過を見守る必要がある。町では、子ども家庭支援センターを中心に、要保護児童対策地域協議会を構成している行政機関と関係団体と連携し、児童虐待の未然防止に取り組んでいる。また、面接や家庭訪問、電話やメールを活用し、子どもや保護者への支援を行っている。今後も連携を強化し、町全体で虐待防止に努めていく。



山崎 栄 議員 (自民誠和会)

杉浦町長の目指す 2期目の町政について



町長 将来持続可能な自立都市を目指す

質問 町は新たな目標として、第5次長期総合計画を策定し、4月の町長選挙により、2期目の杉浦町政がスタートした。コロナ禍でのワクチン接種事業の優先はもとより、町長公約の大きな柱として、「チャレンジできるまちづくり」、「健康で健やかに暮らせるまち」、「子どもたちのびのび育つまち」、「つながりと活力あふれるまち」、「協働型社会の形成と行政効率化」を挙げているが、どのような運営を行っていくのか、所見を伺う。

「チャレンジできるまち」と表現した。今後、延伸予定の多摩都市モノレールとコミュニティバスにより、誰もが働きやすく、産業従事者が集まりやすい環境を整え、税収の安定につなげたい。また、高齢者の健康保持、継続的な子育て支援、障がい者への支援などを基本とし、幅広い人の交流を進めて地域力を醸成していく。行政は、サービスを効率的に提供する体制を整えていく。

下澤 章夫 議員 (自民誠和会)

コロナ禍における 子どもの虐待



町長 連携を強化し、
虐待防止に努めていく



子ども家庭支援センターひばり

町長 産業の活性化、安全・安心の確保など、将来持続可能な自立都市を目指すことを



開発が期待される新青梅街道沿道



村山 正利 議員 (自民新国会)

今後4年間の町政運営について



町長 デジタル化で産業を育成したい

質問 5月16日から多くの町民の方々からの信任を受けて2期目の杉浦町政が進められている。1期目での実績を踏まえ、その行政手腕への期待が高まっていると認識している。

そこで、次の点について町長の見解を伺う。

問① 今回の選挙戦と選挙結果の分析をどう捉えているのか。

町長 ハード、ソフトの両面で、公約のほとんどを達成、あるいは着手したことが評価されたと考えている。

問② 住民に対する具体的なマニフェストはあるのか。

町長 長期総合計画で、目指すべき各種計画を示している。

問③ 4年間で実施し



町内の工業団地

PFI (プライベート・ファイナンス・イニシアティブ) とは
民間の資金とノウハウを活用して、公共施設等の建設、維持管理や運営を行う手法のこと。

質問 マイナンバーカードを利用したコンビニ交付は、住民票や印鑑証明などを早朝から夜まで、また土日祝日でも、全国のコンビニなどで、簡単な操作ですぐに取得できるサービスである。利便性が高く、住民サービ

スの向上につながる。さらに窓口業務の負担が軽減され、職員の働き方改革に貢献し、人件費の削減も可能となる。コロナ禍の今、密を避けデジタル化の一貫としてもコンビニ交付を早期に導入すべきと考えられているが、町長の所見を伺う。

町長 コンビニエンスストアでの交付サービスは、マイナンバーカードの取得を前提としているが、現在の町の普及率は24・8%である。また、導入時のインシャルコスト、システム運用のためのランニングコストなど、財政的負担が発生する。現在、税金を投入するサービスの二重投資や肥大化を招かぬよう、明確な費用対効果や戦略的に効率化が図れるかなどの精査を進めており、結果を踏まえ、導入への取り組みについて考える。



将来、証明書交付が期待されるコンビニのコピー機

原 隆夫 議員 (公明党)

証明書のコンビニ交付の早期導入を



町長 費用対効果などを精査して考える

質問 町民の方と立ち話をしていると「旧青梅街道で人が一番横断する所は？」という話題になった。

その場所は箱根ヶ崎の時計台の東側に位置し、通学時には農芸高校の生徒の横断が多い。しかし、横断歩道はあ

るものの信号機は無く、歩道もあるとは言えず、街灯も暗いなど危険因子が潜んでいる。都道とは十分承知しているが、都への改善要請はもとより、早急な対策が必要と思うが、町長の所見を伺う。

町長 この場所は、以前にも福生警察署と信号機設置について協議した経緯があるが、他の信号機からの距離などの条件があり、現段階で設置には至っていない。危ない場所であることには間違いのないため、引き続き協議が必要と考える。横断歩



榎本 義輝 議員 (自民誠和会)

旧青梅街道の危険因子の排除を!



町長 交通事故の未然防止に努めていく



利用者が多い信号のない横断歩道

こんな質問もありました

姉妹都市・友好合意都市の意義とは

町長 教育、文化など国際感覚を身に付けることや行政機能について考える機会となる。

社会的孤立防止対策の取り組みを問う



町長 地域住民の方々と共生社会の実現を目指す

質問 コロナ禍はSDGsの目指す「誰一人取り残さない」社会へ悪影響を及ぼしている。失業による生活困窮、三密回避による人との関わり制限などが、高齢者、女性、子ども、若者などさまざまな人の社会的孤立を加速させている。孤立はDVや孤独死、自殺などへつながる可能性がある。SOSをいち早く察知し、支援や自立につなげるため、国の支援の活用も踏まえ、町は社会的孤立防止対策にどのように取り組むのか、所見を伺う。

町長 国と都では個人や世帯向けに、さまざまな方法での相談支援を展開し、町でもオンライン、電話、家庭訪問、面接などを継続して実施している。また、西多摩福祉事務所などとも連携し、民生委員など、地域を見守る方からの情報収集も強化している。さらに、学校では、子どもの様子



左上：相談支援は町内各所で行われている。
右下：子どもたちの居場所づくりのため、西多摩くらしの相談センターは「ちえの輪」を開催している。

つなごう ～みずほ ともだちの輪～

「瑞穂町にはシクラメン、だるま、お茶があって、牛もいる。きっとすてきな『ゆるキャラ』ができるはず。大好きな瑞穂町、みんなにもっと好きになって欲しい。」

そんな想いで、原さんは、友達とかわいらしい牛をモチーフにした『ゆるキャラ』のデザインを作りました。5年生の時に町の小・中学生議会の議員として『ゆるキャラ』を作るように要望しましたが、町の答えは「検討します」でした。ところが、6年生になって再度トライしたところ、今度は「作ります」の言葉が！今回、『みずほまる』をランドセルカバーに入れるというアイデアも披露してくれました。

絵を描くことやピアノの演奏が大好きな原さん。夏には保育園のボランティアに参加します。得意のピアノで子どもたちを喜ばせている原さんを、きっと『みずほまる』も応援してくれることでしょう。



▲『ゆるキャラ』誕生のきっかけをつくった原 瑠渚さん
瑞穂第二中学校2年
※デザイン製作者は、石野由佳さん（静岡県在住）

次回 9月定例会（予定） 9月1日～24日

日	月	火	水	木	金	土
15 8月	16	17	18 請願、陳情の 受付締め切り日	19	20	21
22	23 議会運営委員会	24	25	26	27	28
29	30	31	1 9月 本会議 (一般質問)	2 本会議 (一般質問・議案審議)	3 本会議 (一般質問・議案審議)	4
5	6	7 総務産業建設委員会	8 厚生文教委員会	9	10 決算特別委員会	11
12	13 決算特別委員会	14 決算特別委員会	15	16 決算特別委員会 (議員間討議)	17	18
19	20 議会運営委員会	21	22	23	24 本会議 (議案審議)	25

■本会議、委員会の開始時刻は、午前9時30分からです。なお、上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もございます。傍聴にお越しの際は、電話またはホームページで日程などを確認の上、ご来庁ください。
お問い合わせ 議会事務局 ☎557-7693 (直通)

編集後記



編集委員会は5月から新メンバーでスタートしました。これまで、約1年以上に及ぶコロナ禍の影響による厳しい社会情勢の中、皆さまの負託に応えられるように議会は全力で取り組んでいます。そんな議会や町の様子など、できる限り分かりやすく伝えられるよう編集してまいります。議会に対するお気づきの点や、皆さまのご意見・ご感想などをお寄せください。

文：山崎 栄

編集委員
山崎 栄 近藤 浩
森 巨 小川 龍美
村上 嘉男 香取 幸子



瑞穂町議会

検索

●インターネットで議会録画中継をご覧になれます。

〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2335
TEL/042-557-7693 (直通) FAX/042-557-4433
gikai@town.mizuho.tokyo.jp